

プロフィール

奈良大学文学部史学科を卒業後、同大学文学部研究員を経て、本の執筆、テレビやラジオ番組の監修や出演、講演などで幅広く活躍。最近の著書は「図解『これだけ!』日本史」(三笠書房)、「誰が、なぜ? 加来耕三のまさかの日本史」(さくら舎)など多数。武道(東軍流17代宗家)を極め、ヨーロッパで教えていた経験も。1958年、大阪市生まれ。



加来 耕三さん

歴史家

歴史を深く掘り下げ、新しい史実や人物像を分かりやすく、おもしろく紹介してくれる歴史家の加来耕三さん。「歴史を学び、活用すること」をテーマに、350冊以上の本を執筆・監修し、テレビ出演や講演も人気です。歴史が好きで、加来さんの大ファンという毎小特派員の三橋尊君と、妹の円佳さんがお話を聞きました。

人物のつながりで歴史が見える

加来さん さすが、よく知ってるね。西郷隆盛も大久保利通も憧れた立派な人だ。1587年に、豊臣秀吉が九州を攻めましたね。義弘の兄で、島津氏の十六代当主・義久は降伏します。その後、秀吉が家督を継がせたのは義弘。これは秀吉がよくやる手で、こうして兄弟の仲を悪くさせるわけだ。

三橋尊君 (埼玉県長瀬町立長瀬第一小4年) 三橋円佳さん (同小3年) ところで、義弘の人となりが浮かび上がることもある。人物の縦のつながりと横のつながりを調べ続けていると、歴史が見えてくるんです。歴史は調べれば調べるほど、理解が深まるものです。円佳さん 好きな戦国武将はいますか。

加来さん 義弘が朝鮮に出兵した時、義久は軍船を送らないんですね。当時の義弘の手紙が残っていて、「遅刻して周りに笑われた。武士の面目が丸つぶれた」と書いてある。義弘は何事にも動じず、常に物事の先の展開まで考えた見事な武将ですが、嘆くこともあったんですよ。尊君 なぜ、歴史の本に載っていないことも分かるんですか。加来さん 義弘でいえば、義久、秀吉、徳川家康など同時代の人物を調べていくうちに、義弘の思わぬ史実を見つかることがあります。また、島津家の歴史をたど



加来さんが尊君に贈った言葉は、「耕三の舟舟芳い意の勝海舟は、自分自身で決める」。円佳さんには「物語は常に、バランスよく跳べよう」という加来さんの信条を書いてくれました。いけど、賢い武将もいますよ。円佳さん 子どもの頃から歴史が好きでしたか。加来さん 私の本名は川崎。剣術の流派「東軍流」を開いた川崎鑰之助の子孫です。大石内蔵助を教えた先祖もいます。子どもの頃は、自分の家系を調べていました。それが歴史に関心を持つきっかけですね。

尊君 僕と一緒だ! 加来さん 急カーブの石垣「武者返し」がかっこいいよね。実は、熊本城は食べられるんですよ。城を造った加藤清正は、朝鮮に出兵した時におなかをすいてつらい経験をした。だから、どれだけ城にこもって戦うことになっても、食べ物に困らないように、壁にかんぴょうを埋め込んであります。「銀杏城」と呼ばれるように、城内に銀杏を植えたのも食料を確保するため。井戸もたくさん掘っています。円佳さん 今、生きていてほしい武将は誰ですか。加来さん うーん、家康にしておこうかな。家康の国づくりの理念は、二度と戦国の世に戻さないことでした。遠江国と駿河国の境にある大井川に橋をかけるのも船を渡すのも禁止したのは、江戸に武器や兵隊が入り込むのを防ぐためです。エコな生活も徹底していました。米を収穫したら、稲でわらじを作り、履きつぶしたら田の肥料にする。ただ、江戸時代は経済は発展しなかった。こう考えていくと、家康は今の日本に向いている気がしませんか。

【まとめ 小丸朋恵】 加来さん、直接会って質問してみたい人の名前をはがきに書いて(あなたの名前、住所、電話番号、学年、性別もね)、100-8051(住所ははいりません) 毎日小学生新聞「会いたい」係まで送ってください。待ってるね! 毎小特派員の登録は「特派員」係まで



◇みんなには、ぜひこの人に会いたいな、という人がいるでしょう。毎週のこのコーナーでは、毎小特派員のみなさんといっしょに取材します。あなたのあこがれの人、直接会って質問してみたい人の名前をはがきに書いて(あなたの名前、住所、電話番号、学年、性別もね)、100-8051(住所ははいりません) 毎日小学生新聞「会いたい」係まで送ってください。待ってるね! 毎小特派員の登録は「特派員」係まで

ニュースを学んで賢くなるろう!

10歳からのニュース学習誌 毎月15日発売 おもな対象:小学校中学年~中学生

定価 330円 年間購読 3,960円

★連載まんが「少女記者」ちゃん

Newsがわかる